



会津木綿の生地の「夏は涼しく冬は暖かい丈夫な生地」という特性を生かしたインナーウェア。下着なので基本的には見せるものではないのですが、すっきりとしたカッコよさ、見せてもおしゃれな(つい見せたくないような!)アンダーウェアです。繰り返し使用する事で生地が柔らかくなり、自分らしい着心地になります。誰かに贈りたくなる、そんなギフトに最適なアイテム。(全3色・フリーサイズ・ケース入)

【 que no pantsu ¥4,200+tax 】



会津木綿の生地の素朴さをいかした、普段使いしやすいヘアゴムです。体が不自由な方たちが丁寧に作るヘアゴムは愛らしく、自分用にも、大切な人へのギフトとしても贈りたくなるアイテムになりました。2つの生地で作ったヘアゴムをギフトにも最適な箱に入れて。

【 que no hairbotan ¥1,200+tax 】



会津木綿の生地の「日常使いする丈夫な生地」という特性を生かした使いやすいトートバッグ。大切な会津木綿の生地なので、できるだけ無駄が出ないよう幅38cmの織り幅をそのまま縫製することで、ありそうでなかった「ちょうどよいサイズ」のバッグになりました。よりトートの強度を増す為に、とはいつても重くなりすぎない厚さの裏地と持ち手で、長く使ってもらえるような仕上がりに。一緒にお出かけしたくなる、そんなバッグになりました。(全4色・内ポケット付)

【 que no toto ¥10,000+tax 】

photo MASAYO WATANABE

AIZU DASU

ハンディキャップをもちながらも、地域の大切なものに寄り添い、文化をつなぐ働き方。



<9: que>は、
「会津を世に出す」
↓
「あいづを出す」という言葉から
↓
「合図を出す」という意味の英語に由来します。

また、「9」をひっくり返した「6」つの福祉施設でひとつひとつ丁寧に作られています。

400年の歴史ある伝統的で質の高い会津木綿を使用し、
日常使いを意識したアイテムを作る新しいブランド。

会津木綿は夏は涼しく冬はあたたかいとても機能性のある生地です。その生地の丈夫さや機能性は、農耕作業をするときに着用する野良着としても古くから会津の人々に愛されてきました。<キュー>では、そのものの質の高さやあたたかさを感じていただけるアイテムを通して、会津木綿をより身近感じていただけたらと思っています。

nsvaenziv

9



【大名綿】

【棒綿】

【てりしま】

que
no
pantsu

¥4,200+tax
フリーサイズ
<全3色>



【抹茶】

que
no
toto

¥10,000+tax
内ポケット付
<全4色>



【朱赤】



【灰茶】



【からし】

que
no
hairbotan

¥1,200+tax
ヘアボタン2個入
ボックス仕様



que no pantsu … 杜の花、夢の樹、銀河工房 / que no toto … なのはなの家、食工房ひもろぎ / que no hairbotan … コバン・クラージュ
すべて福島県内の福祉施設で制作しています。

< 企画：hickory03travelers(デザイン)、トイカラシ(制作アドバイス) >

【お問い合わせ】福島県授産事業振興会 福島市御山町8-30 (担当：前林) TEL 024-563-1228 FAX 024-563-1234 info@f-jusan.jp